



エンジニアLink 2026.3 REPORT

10周年記念イベント紹介号

～世界トップレベルに触れて、仲間とマイビジョンをつくろう～

エンジニアLink 10周年イベントを開催

ー未来をつくるエンジニアが世界の挑戦の“最前線”に触れるー

MIT

HITACHI

JAXA

MEMORY LAB

SUBARU

技術の未来を動かす世界のトップの人たちが集まる



この10周年イベントは、エンジニアLinkが掲げた2030ビジョンに向けての第一歩。

世界トップレベルとリアルに出会い、自分のオモイをカタチにしてみる。挑戦を育てる“マイビジョン”を参加した140名のみなさんとともに描きました！





BACKGROUND ～エンジニアLinkとは

未来をつくる、多様なエンジニアが出会い、**ジブンの仕事をもっと面白く、社会をもっとHAPPYに！**するために思いやアイデアを発信・共有できるコミュニティ。

“エンジニアLink”を2016年3月に立上げて、とうとう10年！

大事にしてきたことは、適度なゆるさ・楽しさを大事にした繋がり。安心して、会社では、機会が中々ないトライもOK。

技術を使って世の中を良くしたい人 = エンジニア



※組織風土改革のスコラ・コンサルトが有志活動をサポート

VISION ～2030年に向けたエンジニアLINKの姿

エンジニアLink Vision

“そうきたか！”

技術×ヒューマン力で が生まれるコミュニティ
リアルに越境して考えを交換し、ジブンのアイデアと挑戦を育てる

FUTURE ～これから、エンジニアに求められる役割

テクニカルスキル

新たなスキル、
テクノロジーリテラシーは
ニーズが高い

今後5年間で39%のスキルが
大きな変化を遂げる



ソフトスキル

リアルに課題を
見抜き、人を動かし、
越境し、価値をつくる力

2025年、これから求められるスキル・トップ

1. 分析的思考
2. レジリエンス、柔軟性、俊敏性
3. リーダーシップと社会的影響力
4. 創造的思考
5. モチベーションと自己認識

Schedule 全体スケジュール

OPENING

アイス
ブレイク

Session1
SPECIAL
KEYNOTE

AI地殻変動と創造性の再定義～人間の強みを活かした仕事をするには

Session2
BREAKOUT SESSIONS
& SNAP TALK

ジブンの興味で1つを選ぶ分科会と対話

ENDING

つくりたい世界のシェア

NETWORKING

ドリンク片手に登壇者・参加者の交流パーティー

Session1 : SPECIAL KEYNOTE

米マサチューセッツ工科大学 (MIT)
メディアラボ副所長 石井裕さん

AI地殻変動と創造性の再定義
～人間の強みを活かした仕事をするには



宇宙や世界という壮大な視野と時間軸から物事をとらえて視座を高めることの大切さや、未来をつくるための3つの力について、お話いただきました。

「出航力」—自分をさらけ出し、突出する勇氣
「道程力」—まだ誰も通っていない道を創る挑戦する力
「造山力」—新しい山を築く力

特に力説されたのは、常識の枠を超えた想像力や感性が未来をつくる原動力になること。また、命が尽きたその先の2200年という途方もない未来にも「志・ビジョン」や「美」は届く、次の世代に受け継がれていくという視点は、私たちの思考の枠組みを変動するものでした。



Session2 : BREAKOUT SESSIONS ジブンの興味で選ぶ4つの分科会

参加者が自分の興味・関心、問題意識で分科会を選び、4つのスペースに分かれて、ゲストスピーカーからお話を聞きました。参加者のみなさんがお話に引き込まれ、集中した、ピンとした気持ちのいいテンションが張った時間になりました。



株式会社MEMORY LAB
代表取締役CEO Forbes 30 UNDER 30 Asia&Japan
畑瀬 研斗さん

世界の「知」をつなぎ、次のイノベーションを生む
-分散した知を構造化し、価値へ変える-

知のつながりが未来を創る

自身の挫折経験から脳の研究へと至った背景や、社会課題を解決する技術の可能性。「世界の『知』をつなぎ、次のイノベーションを生む」がテーマです。

世の中を動かすのは、大きな仕組みではなく「たった一人の熱」という彼の信念は、みんなの心を大きく揺さぶります。一人の人間が持つ計り知れないエネルギーと可能性、それを拓く突破力と好奇心の重要性を再確認させられました。



JAXA
元宇宙船「こうのとり」フライトディレクタ 宇宙飛行士挑戦エバンジェリスト
内山 崇さん

絶対失敗できないミッションを駆動する力
-「こうのとり」9機連続成功の裏側-



挑戦の裏側から未来を見つめる

「絶対失敗できないミッション」を成功に導いた経験や、宇宙飛行士選抜で最終候補まで残ったものの落選した挫折体験から得るものについて語りました。



「残念な結果であっても後悔はない」と断言する姿勢は、企業人に強烈な印象を残します。そして、「異業種の同志や仲間との出会いが一生の財産」という言葉は、大きな挑戦や挫折に直面するほど“人の存在”が気づきや学び、回復や意欲の支えとなること、かけがえのない価値であることを教えてくれました。

Session2 : BREAKOUT SESSIONS ジブンの興味で選ぶ4つの分科会



株式会社日立製作所
研究開発グループ 技術戦略室 チーフストラテジスト
佐藤 雅彦さん

日立のオープンイノベーション活動と20年続く社員コミュニティ活用事例紹介

共感の熱量がイノベーションを生む

「日立のオープンイノベーション活動と社員コミュニティ活用事例」をテーマに紹介したのは、高い熱量の有志コミュニティ「Team Sunrise」の活動における試行錯誤について。

ボトムアップの活動を経営戦略に合流させる取り組みは、山あり谷ありだったが、ふり返ると「人生は思った通りにはならない、しかし思った以上のものにすることはできる」。そんな実感のこもった前向きなメッセージは、参加者の強い共感を呼び、励まされるものでした。



株式会社SUBARU
取締役専務執行役員 CTO
藤貫 哲郎さん

SUBARUが挑むイノベーションとエンジニアの挑戦



強いモノづくりはトップの覚悟

「このままだと日本のモノづくりはダメになる、世界で勝てるモノづくりをするためには何が必要か」、その模索と実践について語りました。

自身が経験してきた、人が境界線を越えて関わり合ってモノをつくる強さ、それを今の状況の中でいかに芽生えさせていくか。勝てるモノづくりを実現するための大部屋開発の方法論、その裏にあった粘り強いマネジメント、権限移譲は、“全部が見えるようにして、何も言わないこと”など、実践知にもとづく姿勢に深く納得しました。



参加したメンバーの感想・声のシェア

108件の回答から

■エンジニアLinkの参加回数は？

はじめての参加

75%

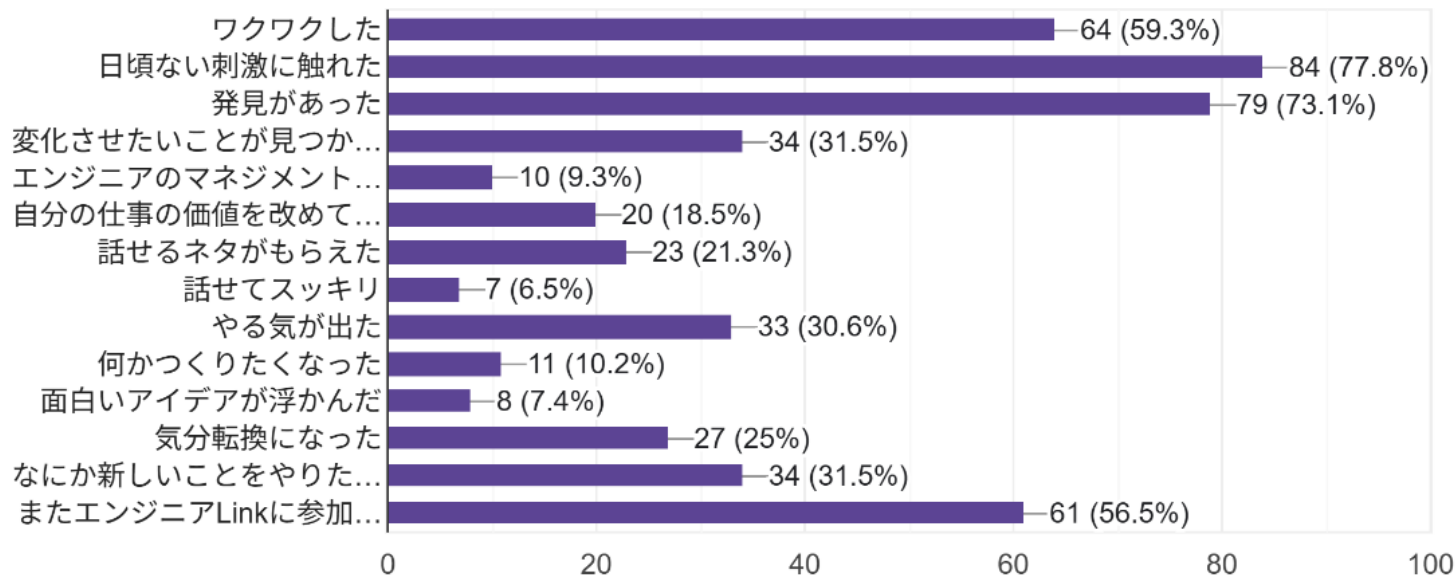
2回目 5.6%

3回以上 19.4%

■石井裕さんの話を聞いて

- ・自分を殺しがちな世の中だが、自分を色濃く大切にする。
- ・AIに負けないためのポイントのひとつ、自分の誇りを持てることが発見できました。
- ・石井さんが持つ世界観は初めて触れるものでとても感動するものでした。
- ・終電、終点地点によって人それぞれ成長のスピードが違う。遠くに終点を意識したい。
- ・2200年、自分がいない世界に何かを残したいです
- ・自分に欠落しつつあった感性の部分の必要性。
- ・テクノロジーは便利だけではダメで、自分なりの“美しさ”を込めないといけないと思った。
- ・石井三感を内燃機関とする話は、「行動しない言い訳」をぶち壊す。自分自身にも学生にも伝えていきたい。

■あなたにとってどんな価値があったか？



■場の満足度は？

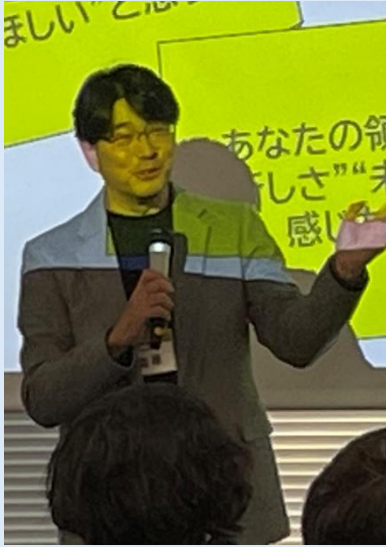
大満足

81.5%

満足

18.5%

登壇者、参加者が感じたエンジニアLink



(登壇者) 日立製作所 佐藤 雅彦さん

エンジニアLINKで出会った熱気は、私の胸を打ち、志を新たにしてくれました。石井先生がお話しされたように、これからの時代の技術者には、技術者という枠に安住せず、役割を越え、視野と行動の幅を広げる覚悟が求められます。**思った通りにならない人生を、思った以上に変えるのは、日々を磨く克己力**です。組織としても、挑戦が個人のリスクではなく組織の資産となる仕組みを育てたい。

ここに集う皆さんは、それぞれの現場で挑戦を実践へ変える力を持つ方々です。この交流の灯を、未来への希望として絶やさず広げていきましょう。

(登壇者) MEMORY LAB 畑瀬 研斗さん

エンジニアLinkは、様々な知が集まり連鎖し、新たな価値が立ち上がっていく場だと感じました。**技術や領域を越えて熱量がぶつかり合い、そのエネルギーが周囲に伝播していく。ただの情報交換の場ではなく、自分は何に向き合い、どう生きるのかまで問い直される感覚**がある。エンジニアにとって、視座と可能性を大きく拡張し、自らの挑戦を後押ししてくれる非常に意義深い場だと思います。



(参加者) 春から中央大学 津田 勇氣さん (10代)

叔父に連れられふらっと参加。これまで**なんとなく生きてきた自分を見つめ直すきっかけ**になりました。石井裕先生は、人との別離の寂しさを埋める事が原動力であり、メモリーラボの畑瀬研斗さんは、深い好奇心（ドーパミン）が原動力とのことでした。

今、自分の中には具体的な目標も原動力もありません。しかし、このイベントを通して、**大学では人生を捧げるほどの熱を見つけた**い！と強く思いました。



登壇者、参加者が感じたエンジニアLink

(参加者) SUBARU 樋口 光さん (20代)

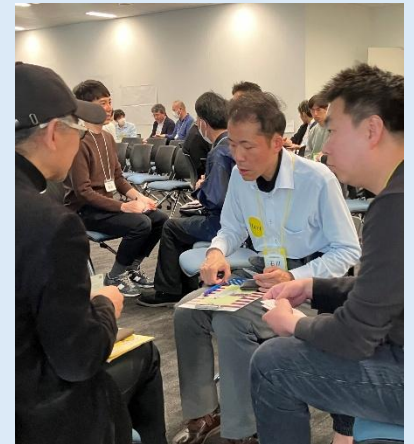
普段の業務では得られない多様な視点や価値観に触れた。特に「エンジニアというラベルを貼るな」という考え方が一番印象的でした。**技術だけで完結するのではなく、音楽やアートのような感性も含めて未来を考える必要がある、という視点は、普段の業務ではあまり触れない価値観でした。**また、「**正解は最初からない**」という前提で**考える姿勢も新鮮**でした。20代でこういった考えに触れる事ができたのは良かったと思います。

また刺激になったのは、熱量の高いエンジニアの方々とは直接話せたこと。それぞれが自分の興味や信念を持って挑戦している姿が印象的で、たくさん失敗してきた人たちがいっぱいだなと。**自分も、もっと枠を超えて挑戦したいと思えるきっかけ**になりました。



(参加者) 日産自動車 石川 謙さん (40代)

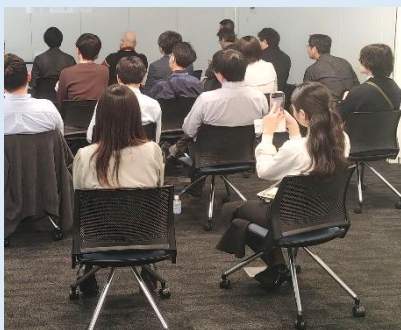
ポリネーターになれた。知り合いが多いただけではない。**知り合い同士を繋いで、未来に繋げた。**自社で運営しているコミュニティも含めて、様々なコミュニティで出会った人達が繋がった。それを実現できる場は本当に貴重だと思う。



(参加者) インターネットイニシアティブ (IIJ) 山田 真維さん (20代)

運営ボランティアとして、約140名が集う場の熱量を肌で感じられたことは大きな財産となりました。世話人の方々による「**声かけファースト**」の姿勢は、**初対面の参加者や運営側の垣根を取り払い、一体感を生み出す原動力**になると学びました。また、登壇者の石井さんの「**一期一会のこの場を、互いのエネルギーを交換し合う好機と捉える**」というお話は、緊張していた私の背中を押してくれました。

この貴重な刺激を糧に、まずは日々の業務で研鑽を積み、このような**場で価値を還元できる存在へと成長していきたい**です。



2026年3月14日イベントの様子

■恒例の集合写真



■Snap Talk



内山さん 藤貫さん
畑瀬さん 石井さん 佐藤さん



■名刺交換、何枚できるか！



■SPECIAL KEYNOTE



Be Artistic & Analytic
Be Poetic & Pragmatic
Be Romantic & Realistic



■ゲストのみなさんと！



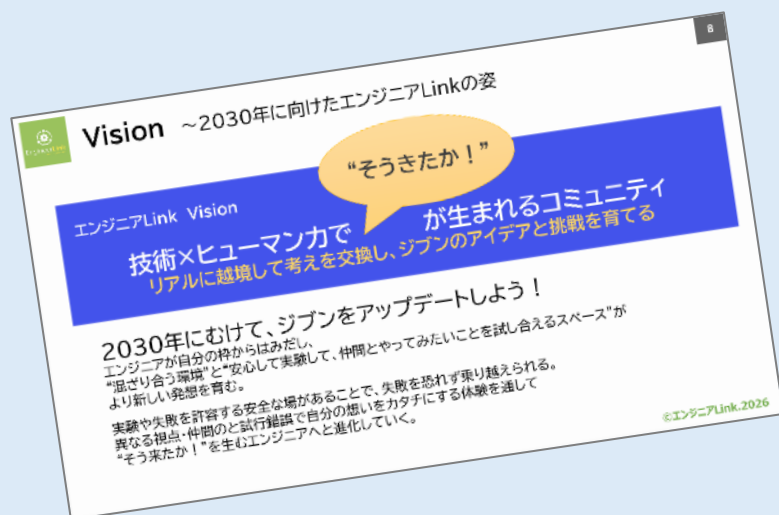
Special Thanks ! ～今回のイベントの協賛企業

エクシオグループ株式会社 東洋エンジニアリング株式会社 コクヨマーケティング株式会社
株式会社スコラ・コンサルト



各社ご協賛のおかげで、素敵な場になりました。ありがとうございました！

2026年、
 ご一緒したみなさんとまた面白い、新たな発想やつながり
 になることをやっていければ、嬉しいです！



「うちでやりたい」也大歓迎です！

【予定】
 場所は都内
 19:00～21:30予定
 6月19日（金）
 9月11日（金）
 12月16日（水）
 27年3月12日（金）

【テーマ案】

1. 越境のスイッチを入れる～リアルな体験・見学や交流
2. AI時代のエンジニアの“人間力”をアップデートする
 ～ひねったアイデアを育ててみよう
3. 技術では解けない問題に挑む～技術×人間力！どう解決できる？
4. エンジニアが“未来の自分たちの働き方”をプロトタイプする

エンジニアLink

—エンジニアがゆるく・安心してつながれる
 コミュニティ！—



主催者：源明典子・太田久美・炭元宗一郎

私たちは、新たな価値やつくり方、これからの社会を支える仕組み・・・をうみだそうとするエンジニアを応援しています。想いと技術で問題の解き方を変えよう。

HP <https://www.join-engineerlink.com/>

facebook <https://www.facebook.com/engineerlink>